

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人甲山福祉センター西宮市立北山学園		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 12日		~ 2024年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2024年 9月 12日		~ 2024年 9月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの職種の専門性を活かした療育・保育	保育士、OT、ST、心理士等が情報を共有しながら療育・保育・訓練に日々取り組んでいる。	外部・内部の研修を受けて個々の職員のスキルを高める。多職種間で連携できるよう、情報の共有を密に行う。
2	毎日の様子を細かに伝えたり、相談に対して丁寧に対応している。	アプリを使って子どもの様子を保護者に迅速に伝えるようにしている。また連絡ノートや電話なども使用して、相談にも対応している。	継続して現状の対策を行うとともに、迅速な対応を行う。
3	事故や怪我などに対する迅速な対応	安全カメラをすぐに見返し事故や怪我が起こった原因を特定し、報告を迅速に行うようにしている。	継続して現状の対策を行うとともに、安全カメラを増設して死角を無くすように務める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室の狭さ、バリアフリーでない。	建物の老朽化による。	市としては建物の長寿命化を図るという方向である。
2	職員の配置人数	配置基準は満たしている。 こども2に対して職員1という体制を取るよう配置している。	人材を集めて急な職員の病欠にもたいおうできるよう体制を取る努力をする。
3	きょうだい同士の交流	どこまできょうだい同士の交流を図る努力をするのか。	どこまできょうだい同士の交流を図る努力をするのか精査検討したい。